

第53回 VE関西大会

VEと原価企画

～新しい取り組みで持続可能な未来を～

会場とオンラインの同時開催!!

会場参加

2022年2月18日(金) 10:00～17:00 □大阪国際会議場 会議室1009

午前の部(アップグレードミーティング)と午後の部の全てに参加いただけます

オンライン参加

2022年2月18日(金) 12:55～17:00 □Microsoft Teamsによるライブ配信

午後の部にリアルタイムで参加いただけます

オンデマンド配信

2022年2月21日(月)～28日(月) □ネコプロウェビナーによるオンデマンド配信

2月18日午後の部の内容に加え、海外VE情報、過去のVE事例等を配信します

※詳細は最終ページへ

西日本支部(関西地区) 運営委員会参画企業・団体

西日本旅客鉄道(株)
(有)大西マネジメント・ソリューション
オムロン(株)
川崎重工業(株)
(株)島津製作所
ダイハツ工業(株)

ナブテスコ(株)
日新電機(株)
(株)ノーリツ
パナソニック(株)
(株)フジタ
三菱重工業(株)

三菱電機(株)
三菱電機エンジニアリング(株)
三菱電機トレーディング(株)
三菱ロジスネクスト(株)
村本建設(株)

順不同

主催 公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会 西日本支部(関西地区)

後援 公益社団法人大阪府工業協会 / 公益社団法人京都工業会 / 公益社団法人兵庫工業会

VEと原価企画

□ 2022年2月18日(金)プログラム

時 間	内 容
10:00～12:05 (125分) 本アップグレードミーティングは会場開催のみとなります。オンラインでの配信は行いません	アップグレードミーティング ここでは、参加者の皆さまの疑問やお悩みについて、パネラーのアドバイスを得ながら解決してゆきます。パネラーからはこれまでの経験をもとに詳細にface to faceでアドバイスさせていただきます。ぜひ、この機会に皆さまの疑問やお悩みをお聞かせください。VEの導入・定着・活性化に対するお悩み、原価企画や各種VE関連技法への疑問など何でもけっこうです。皆様のご参加お待ちしております。 ※パネラーには、VE／原価企画活動を実践し成果を上げている以下の企業の専門家やコンサルタントの参加を予定しております。 三菱重工業・三菱電機・西日本旅客鉄道・東京ガス・オムロン・ノーリツ・マツダ等(順不同) ※申込時に質問や相談事項を記入いただいた方は、優先して対応させていただきます。
12:05～12:55	昼食・休憩(50分)
12:55～13:00	●開会あいさつ 公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会 西日本支部 支部長 田淵 剛
13:00～13:35 (35分)	●VE先進企業に学ぶ(2020年度VE活動優秀賞) 「製品企画から量産中の製品に至るまでの原価企画VE活動」 当製作所では、製品企画段階から製品量産時まで次のような原価企画VE活動を実践し経営活動に貢献している。①全部門参加によるVE5原則を取り込んだ製品企画②開発から量産までの各ステップにおける指標管理に基づいた原価企画VE活動③開発初期から量産を見据えた1図面VE®を用いた取引先との共同VE活動。今回はこの活動状況について紹介する。 三菱電機(株)高周波光デバイス製作所 総務部 資材課 専任 VES木村 達也氏
13:35～13:40 13:40～14:10 (30分)	休憩(5分) ●VEの新しい取り組み 「訪問看護ステーションにおけるサービス価値向上のためのVEの適用」 訪問看護ステーションは、利用者との契約によって、看護師が看護サービスを利用者の居宅に訪問して実施する。地域にある多くのステーションの中から選ばれるステーションとして、サービス価値向上が経営上の課題であり、その手段としてVEを適用する試みを紹介する。 サービス領域でのVE適用方法研究会メンバー (大阪学院大学教授・大阪府立大学名誉教授) VEL山本 浩二氏ほか
14:10～14:20	休憩(10分)
14:20～14:50 (30分)	●VE推進事例紹介 「東京ガスのVE挑戦記～東京ガスにおけるVE導入と定着の取り組み」 2017年のガス小売り全面自由化と、2022年に控えるガス導管部門の法的分離等の環境変化を踏まえ、全社的にVE活動の取り組みをスタートした。今回は、ゼロからのスタートとなった東京ガスでのVE立上げから現在の拡大期に至るまでの歴史と、あわせてそこに至るまでの工夫、乗り越えたことなどを、立上げ担当者の目線で紹介する。 東京ガス(株)資材部調達企画グループ VES伊藤 学氏
14:50～14:55	休憩(5分)
14:55～15:25 (30分)	●VEの新しい取り組み 「DX化推進する前に実施するLEV手法による業務改善」 DX化では、コストが発生するが、すぐには結果がでないというデメリットが発生することがある。そこでDX化の前に理想的な業務を明確にしておくべきである。これをLEV手法で実施する方法を紹介する。この手法は、顧客視点のリーンと全体最適化のバリューメソッドを組み合わせたものである。 リーンシックスシグマとのシナジー研究会 主査 (三菱重工業(株) GTCC事業部 製造管理部 主幹技師) CVS赤城 弘一氏
15:25～15:35	休憩(10分)
15:35～17:00 (85分)	●特別講演 「トヨタにおける「品質」と「原価」の起源と進化」 トヨタは古くから「品質」と「原価」を目的機能とする機能別管理を行っている。創業以来の品質経営は時代とともに進化し、稼ぎの元となる原価企画でも経済の変化に応じた進化を続けている。講演では「自工程完結」と「原価企画」にフォーカスして概説し、それらの起源がトヨタ自動車の創業者である豊田喜一郎氏に有ったことをお伝えしたい。 元トヨタ自動車(株) 森 浩三氏

※2月18日(金)当日は、全ての講演・発表に質疑応答時間を設けております。Microsoft Teamsからもチャットにてご質問いただけます。

※会場での新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、VE関西大会ホームページをご参照ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、講師が来場しないリモート講演となる場合や、来場参加を中止し、完全オンラインにて実施させていただく場合がございます。

■ 講演者略歴 特別講演「トヨタにおける「品質」と「原価」の起源と進化」 元トヨタ自動車(株) 森浩三氏



トヨタ自動車 1968年入社 2011年退職

- ① 実験部門、品質保証部門：11年間 → 自動車の構造を知り、品質保証の全体像を理解した時期。
- ② 製品企画：13年間 → 画期的ワンボックス車(初代エスティマ)の企画と開発推進で暴れまわった時期。
- ③ 原価企画：10年間 → 個別車種の原価企画推進とトヨタの原価企画システムを整えた時期。
- ④ 再発防止・自工程完結：7年間 → 再発防止を再構築、自工程完結運動の企画と推進など、全社運動を展開した時期。

トヨタ退職後 2012年から現在

- ⑤ 秋田県自動車産業アドバイザー → 自動車産業振興プラン策定と推進、県内企業社員の人材育成
- ⑥ 中部品質管理協会講師、日本科学技術連盟講師 → トヨタ式再発防止セミナー講師 他

■ オンデマンド配信:下記の期間であれば、興味のある録画をいつでも、何度でもネット上でご視聴いただけます。

- 配信期間:2022年2月21日(月)～28日(月) 8日間
※会場参加またはオンライン参加された方は、オンデマンド配信も参加可能となります。
※オンデマンド配信のみの参加も可能です。
- 配信ツール:ネグプロウェビナー (アプリのダウンロードは必要ありません)
- 配信内容:①2月18日(金)当日のプログラムの録画(アップグレードミーティングは除く)
②海外のVE展開活動に関するインタビューの録画(約30分×2本<予定>)
③過去の発表で評価の高かったVE及びVE関連技法事例の録画(約30分×6本<予定>)
※②③の詳細はVE関西大会ホームページをご参照ください。

■ 参加方法・開催日時・開催場所(方法)

参加方法	開催日時	開催場所(方法)	内 容	定員
会場参加	2022年2月18日(金) 10:00～17:00	大阪国際会議場 会議室1009	午前の部(アップグレードミーティング)と 午後の部の全てに参加いただけます	70名
オンライン参加	2022年2月18日(金) 12:55～17:00	Microsoft Teamsによる ライブ配信	午後の部にリアルタイムで参加いただけます (アップグレードミーティングにはオンライン参加はできません)	250名
オンデマンド配信	2022年 2月21日(月)～28日(月)	ネグプロウェビナーによる オンデマンド配信	2月18日午後の部の内容に加え、海外VE情報、過去のVE事例等 を配信します(アップグレードミーティングは配信されません)	

※会場参加またはオンライン参加された方は、オンデマンド配信も参加可能となります。また、オンデマンド配信のみの参加も可能です。

■ 参加費:□一般:16,500円 □会員/会員の紹介/後援団体の会員/VE有資格者:15,400円

<消費税・資料代含む>※参加費は参加方法に関わらず同価格となります。
※大会資料には、2月18日当日の資料の他、オンデマンドのみで配信するVE及びVE関連技法事例等の資料も含まれます。
※大会資料はPDFデータを別途ダウンロードいただく形となります。開催日前にダウンロード方法をご案内します。

■ 締切日:2022年2月11日(金)

※締切日前でも定員に達し次第受付を締め切りますので、できるだけお早めにお申込みください。

■ 2月18日(金)の会場

大阪国際会議場【グランキューブ大阪】

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。

電車

- ・京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
 - ・JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分
 - ・JR東西線「新福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
 - ・阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
 - ・Osaka Metro「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分
- ※その他、「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」桜橋口の間でシャトルバスが運行されており、ご利用いただけます(15分間隔)、ただし、混み合っておりますので、シャトルバスをご利用の場合、お時間に余裕をもってお越しください。



第53回 V E 関西大会

検 索

お申込みは、日本VE協会HPへ(www.sjve.org)

締切日:2022年2月11日(金)



公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会

Society Of Japanese Value Engineering

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-4-15 真井ビル6階
TEL:03-5430-4488 E-mail:info@sjve.org